

令和7年3月26日

市政記者クラブ 様

教育委員会部活動振興課

担当:平尾隆明

電話:291-4303

「中学校部活動における事故に関する調査委員会」を踏まえた
再発防止策について

みだしのことにつきまして、下記のとおりご報告いたします。

記

1 調査委員会の開催状況

- 第1回 令和6年11月7日(木) 午前10時から11時20分
第2回 令和6年12月6日(金) 午前10時から11時30分
第3回 令和7年1月6日(月) 午後2時から3時

2 委員(50音順、敬称略)

名古屋市立若水中学校	校長	市橋 淳
名古屋市立小中学校PTA協議会	会長	尾関利昌
名古屋市立あずま中学校	教諭	加藤雅士
至学館大学健康科学部	教授	加藤雅之 ※座長
名古屋市立大学病院救急科	部長	服部友紀

3 検討内容及び主な意見

- (1) 学校部活動の現状について(活動基準、学校保健の手引き)
○安全対策が全ての教職員に周知徹底されていないのではないのか。
○保護者に学校の取り組みを周知するべき。
- (2) 今回の事案について(事故概要、練習計画等)
○事故が起きた後の対応が遅く、また不十分であった。
○保護者への連絡をもっと早くするべきであった。
○生徒や保護者に寄り添った対応ができていなかった。

- (3) 「休日・校外での部活動ハンドブック」の作成について
- 文字の精選、レイアウトを工夫するなど、いざという時に活用できるものにしてほしい。
 - 「生徒・保護者の気持ちに寄り添った対応に心がける」、「教職員として責任ある行動を」という文言を入れる。
 - いつでも携行し、確認できるようにデータ化し、スマホ等にダウンロードできるようにするとよい。
 - 保護者にも共有するとよい。
- (4) 部活動中の事故等の発生時に備えた緊急体制の確立および研修動画の視聴について
- 研修動画の視聴は個人任せにせず、各学校で研修日時を設定するなど、全教職員が視聴できるように配慮する。
 - 学校外での活動に特化した研修動画があるとよい。
- (5) 種目ごとの部活動中のヒヤリハット事例および種目の特性を踏まえた安全対策について
- 事故を未然に防ぐ方策として、ヒヤリハットの事例を示すとよい。
 - 担当種目以外の事例も参考にしよう指示するとよい。

4 調査委員会の検討内容等を踏まえた再発防止策

- (1) 通知文「部活動中の事故等の発生時に備えた緊急体制の確立について」の発出（教職員あて）**資料1**
- (2) 「休日・校外での部活動ハンドブック」（紙・データ）の配付・配信（教職員あて・保護者あて）**資料2**
- (3) 通知文「種目ごとの部活動中のヒヤリハット事例および種目の特性を踏まえた安全対策について」の発出（教職員あて）**資料3**